

平成30年度 水戸市観光審議会

日時 平成31年2月22日（金）午後2時
場所 水戸市役所本庁舎4階 中会議室3

次 第

開 会

- 1 あいさつ
- 2 諮問事項
 - (1) 先導プロジェクトの進捗状況について（2018年度）
 - (2) 具体的な取組について（2015～2018年度）
 - ① スポーツ・文化観光まちづくりの推進について
 - ② 自然観光まちづくりの推進について
 - ③ 市民おもてなし運動の推進について
- 3 その他

閉 会

1 先導プロジェクトの進捗状況について（2018年度）

平成27年3月策定の水戸市観光基本計画（第3次）における目標「観光交流人口年間450万人（2023年度）」の達成に向け、先導プロジェクトを中心に、市内各課・関係機関と連携し、事業を展開している。

（1）観光基本計画の目標値

指標	目標設定時 (2012年度)	現況 (2017年度)	目標値 (2023年度)
観光交流人口（年間）	3,144,400人	3,965,900人	4,500,000人

（2）先導プロジェクト

2023年度の観光交流人口年間450万人を達成するための先導的な事業として、以下の5つを先導プロジェクトとして設定している。これらのプロジェクトは、本市の特徴的な取組として、個性と魅力を高めるという視点から、優先的に進める事業としている。

①歴史観光まちづくり推進プロジェクト

指標	目標設定時 (2012年度)	現況 (2017年度)	目標値 (2023年度)
弘道館入込観光客数 (年間)	48,000人	87,067人	150,000人

※重点的な取組の実績見込（2018年度）

<弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進>

水戸城大手門等復元整備、水戸城跡周辺の道路景観整備、弘道館東側用地整備、明治維新150年記念歴史アニメーション制作、「水戸学の道」散策コースの設定・散策マップの作成、明治維新150年記念「水戸学の道」ウォーキングウィークの実施、光圀伝の大河ドラマ化の推進 等

<偕楽園と弘道館、水戸城跡周辺をつなげた魅力づくりの推進>

観光漫遊バスの運行、夜・梅・祭をはじめとした梅まつりの開催 等

②スポーツ・文化観光まちづくり推進プロジェクト

指標	目標設定時 (2012年度)	現況 (2017年度)	目標値 (2023年度)
コンベンション誘致数 (年間)	4件（誘致） 3件（自主事業）	16件（誘致） 10件（自主事業）	20件（誘致） 5件（自主事業）
市内年間宿泊客数	451,616人	614,351人	680,000人

※重点的な取組の実績見込（2018年度）0

<コンベンション誘致活動の推進>

誘致：第23回日本糖尿病教育・看護学会学術集会、ベジタブルマラソン in 水戸偕楽園 2018 等

営業強化：水戸コンベンションガイドブックの作成、コンベンション誘致支援システムの

導入等

<コンベンション受入体制の充実>

東町運動公園体育館の完成，コンベンション開催助成制度の拡充，茨城県 MICE 誘致推進協議会への参加 等

<水戸芸術館・新たな市民会館を中心とした文化まちづくりの推進>

第 50 回記念水戸市芸術祭，第 17 回水戸市郷土民俗芸能のつどい，記念特別展「水戸城遥かなり」の開催，オセロ小学生グランプリ 2018 関東ブロック大会の開催 等

③自然観光まちづくり推進プロジェクト

指標	目標設定時 (2012 年度)	現況 (2017 年度)	目標値 (2023 年度)
偕楽園（本園）入込 観光客数（年間）	949,000 人	990,478 人	1,200,000 人

※重点的な取組の実績見込（2018 年度）

<水戸の花絵巻事業の推進>

七ツ洞公園西側駐車場の供用開始，観光漫遊バスの運行，植物公園早春の花まつりの開催，七ツ洞公園での「KUNITA DE LOHAS」・「KUNITA DE ART」の開催，はなふるたうん事業の推進等

<観光果樹園や水辺空間を活用した魅力づくりの推進>

田んぼアート田植え・稲刈り体験の実施，森林公園における各種体験イベントの開催，那珂川遠泳大会の開催 等

④インバウンド観光（国際観光）推進プロジェクト

指標	目標設定時 (2012 年度)	現況 (2017 年度)	目標値 (2023 年度)
外国人の入込 観光客数(年間)	—	57,848 人	100,000 人

※重点的な取組の実績見込（2018 年度）

<外国人観光客の受入体制の充実>

観光案内板やパンフレット等の多言語化，ファミ・インセンティブツアーの受入対応，観光案内所における外国語対応スタッフの常駐，(仮称)水戸市インバウンド推進機構の設立準備会の開催

<外国人観光客向けの観光メニューの充実>

体験プログラムの整備及び情報発信，神輿体験・剣道体験の実施，日本文化の体験プログラムの充実に向けた各施設への協力依頼

<海外各国・地域へのプロモーション>

国際旅行博・商談会（台湾）への参加，動画や web 広告の配信・多言語版チラシの配布等による海外（台湾・中国）へのプロモーション強化，繁体字版 Facebook の活用，観光いばらき多言語 Facebook の活用

⑤市民おもてなし運動推進プロジェクト

指標	目標設定時 (2012年度)	現況 (2017年度)	目標値 (2023年度)
優良タクシー乗務員 認定人数	22人	42人	100人
おもてなしマイスター 認定人数	0人	72人	200人
新たな土産品の 開発品数	—	15品	20品

※重点的な取組の実績見込 (2018年度)

<おもてなし力の向上>

学生ボランティア・おもてなしマイスターのイベント参加, 大人なおもてなしブックの配布, おもてなしセミナーの開催, 水戸黄門漫遊マラソンにおけるおもてなしの実施 等

<戦略的観光PR活動の推進>

水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」によるシティセールスの実施, 「みとちゃんの部屋」HPの新設, SNSを活用したPR, イバラキセンスにおけるデジタルサイネージを活用したPR 等

<観光産業の育成・強化>

納豆や水戸産ワイン等の各種物産展への出品・PR, 水戸の梅産地づくり事業の推進, 夜・梅・祭での水府提灯の活用, 水戸美味っぷの作成, 地酒で乾杯イベントや新酒まつり・全国梅酒大会の開催 等

2 具体的な取組について(2015～2018年度)

(1)スポーツ・文化観光まちづくりの推進について(基本計画P75～P77)

①コンベンション誘致活動の推進

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
MICEそれぞれについて、水戸市の地理的・文化的特性や開催状況などを総合的に分析し、ターゲットを定めた誘致活動の推進	<p>○県内外の団体への営業活動を実施した。 (2016年度実績：営業訪問710件，うち東京営業167件) (2017年度実績：営業訪問1,535件，うち東京営業521件)</p> <p>○日本最大のコンベンション商談会IMEに初参加した。(茨城県，つくば市と共同)</p> <p>○近畿日本ツーリスト(株)主催の商談会第6回国内大交流コンベンションに初参加した。</p> <p>※ターゲットについて 持ち回りのブロック大会(関東地区規模)，全国大会の誘致を中心に，多数の誘客が可能な大会をメインターゲットとしている。</p>
地域の大学や行政，企業，文化団体，スポーツ団体，JETRO等のニーズ把握と誘致活動	○地域の大学や行政，企業，文化団体，スポーツ団体等とのネットワークを生かして，ニーズ把握に努めた。
リピート開催への働きかけ	<p>○支援した団体との関係を継続し，リピートにつなげるため，適時訪問等を行った。</p> <p>○主催者からの要望や改善事項について，アンケート調査や聞き取り等を実施し，支援の充実につなげる。</p>
コンベンション広告媒体の見直し，充実	○2017年度に水戸コンベンションガイドブックについて，コンベンション施設に関する情報量を増やすことのほか，誘致・支援内容を分かりやすく体系化するなど，掲載内容の改定を実施した。

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
<p>新たなイベントを誘致するための情報収集活動の強化</p>	<p>○JCCB主催コンベンション部会，日本コンベンション研究会等へ参加し，広域的なコンベンション推進団との誘致情報の相互共有を行った。</p> <p>○コンベンション誘致支援システムを導入し，これまでエクセルで管理していたものを顧客管理ソフトウェアで管理することとした。これにより，営業活動やコンベンション開催実績で蓄積した団体や大会等の情報を一元管理し，営業活動の質の向上を図った。</p>
<p>(仮称)水戸マラソンの開催など新たなイベントの開催や支援</p>	<p>○2016年から，水戸黄門漫遊マラソンを開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回開催日：2016年10月30日 <p>エントリー数 マラソン：11,955人，5km：2,391人，2km：1,034人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回開催日：2017年10月29日 <p>エントリー数 マラソン：11,871人，5km：2,541人，2km：1,041人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回開催日：2018年10月28日 <p>エントリー数 マラソン：12,121人，5km：2,312人，3km：1,053人</p> <p>○ベジタブルマラソンin偕楽園2018の大会実現に向けた支援として，コース設定の助言や，駐車場の占用手続き，広報活動を実施した。</p> <p>開催日：2018年12月23日 エントリー数：約2,300人</p>

②コンベンション受入体制の充実

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
主催者や参加者の多様なニーズに応じた支援実施	○宿泊のあっせんや会場の手配など、主催者や参加者のニーズに応じた支援を実施した。
開催助成金制度の充実	○主催者アンケートを実施、分析し、制度見直し等の検討を行った。 ○主催者ニーズの高い看板費用の助成について、助成額の加算（全国大会以上のコンベンションについて、会場に掲示する看板を対象に、基礎助成金額に看板作成費用の1/2(上限1万)を加算するもの）を制度化し、制度の利用促進を図った。
MICE誘致とアフターコンベンション充実に向けた近隣市町村との連携強化	○コンベンション部会への近隣市町村の事業者の加入を促進し、連携強化を図った。 ○主催者から、コンベンション開催会場に関する相談があった場合において、本市での開催が難しい場合においては、近隣市町村を紹介し、情報提供を行った。 ○茨城県MICE誘致推進協議会に参加し、つくば市との意見交換等による連携強化を図った。
駅、街中での歓迎表示や歓迎バナー掲示などの拡充	○水戸駅構内（改札内）や観光案内所の前に、大会や学会の開催を歓迎する看板を掲示した。 ○観光案内所にデジタルサイネージを新設した。

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
市民へのMICE開催情報の積極的な提供	○水戸観光コンベンション協会のHPやSNS, 広報誌「漫遊みと」に開催情報を掲載した。
行政視察の積極的な受入	○市HPによる情報発信を行い, 水戸市役所新庁舎や東町運動公園体育館の視察など, 行政視察を積極的に受入れた。
スポーツコミッション組織の設立検討	○スポーツコミッション組織について, 他市事例の調査を実施した。
観る, する, 支えるスポーツの普及・促進	○市民がトップレベルのスポーツや競技大会にふれることのできる機会の拡充に向け, プロスポーツやトップアスリートが参加する国際・全国規模の大会やスポーツイベントの誘致・開催に努めた。 2017年度実績: 9大会 (沼尻直杯全国中学生レスリング選手権大会, 東日本U15ラグビーフットボール選抜大会など, 東日本大会以上の大規模大会)
スポーツコンベンション誘致に向けた施設等の整備	○青柳公園市民体育館, 総合運動公園体育館の改修工事を実施した。 ○5,000名を収容できる交流拠点として, 東町運動公園体育館「アダストリアみとアリーナ」を整備した。

③水戸芸術館・新たな市民会館を中心とした文化まちづくりの推進

具体的な取り組み	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
文化系地域資源の交流拠点の形成(水戸芸術館, 新たな市民会館, 市立博物館, みと文化交流プラザ)	○新たな市民会館の整備 水戸市新市民会館事業推進計画や, 新市民会館等施設建築物基本設計を策定した。
水戸市芸術祭の充実	○水戸市芸術祭の開催 2018年度に水戸市芸術祭は第50回の節目の開催を迎え, 「水戸の風2018」の開催や「きらクラ!」の収録など特別企画の実施, 功労者ほう賞の授与, 記念誌の刊行等を実施し, 芸術文化活動の更なる振興を図った。 ○特別展「水戸の風2018」の開催 2001年以来4度目の開催であり, 水戸市芸術祭と同時開催し, 水戸美術家連盟に所属する29作家の作品を紹介した。
まちなかアート事業の支援	○水戸芸術館開館25周年記念事業として, 芸術館内で「カフェ・イン・水戸R」を, 芸術館外のまちなかで「Re MITO 100」を実施した。後者のうち, 過去に芸術館で開催した「ダニエル・ビュレンヌ」展の出品作品である「虹」を商店街アーケードに展示し, 街を彩った。 開催日: 2015年8月11日～9月30日 会場: 南町3丁目商店街アーケード
水戸発祥の「オセロ」世界大会の誘致, 「エンジン01文化戦略会議」の誘致, 磯節全国大会等の充実	○第40回世界オセロ選手権, 水戸市オセロデー2018を開催した。 ○エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin水戸, エンジン02in水戸～もっとみとれる水戸～を開催した。
伝統文化の再発見(水戸大神楽, 大串のささらばやし, 大野のみろくばやし, 大根むき花, 有賀神社の磯渡御等)	○水戸市が後援となり, 水戸市民俗芸能団体協議会と(公財)水戸市芸術振興財団の共催で「水戸市郷土民俗芸能のつどい」を隔年で開催し, 大串のささらばやし, 大野のみろくばやし, 大根むき花を披露した。 開催日: 2017年2月25日 会場: 水戸芸術館

(2) 自然観光まちづくりの推進について(基本計画P78～P79)

①水戸の花絵巻事業の推進

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
本格的な英国式庭園である七ツ洞公園の再生事業	○秘密の花苑を特徴あるイングリッシュガーデンとして再生することを目指し、秘密の花苑の再整備を実施した。
七ツ洞公園における戦略的なPR, 駐車場整備, イベントの充実	○七ツ洞公園西側駐車場や、駐車場の案内板の整備を実施した。 ○七ツ洞公園や国田地区の魅力が感じられる取組として、以下の事業を実施した。 ・「KUNITA DE LOHAS」 (2017年度実績：来場者数6,540人, 2018年度実績：来場者数12,600人) ・「KUNITA DE MARCHE」 (2017年度実績：来場者数3,100人) ・「KUNITA DE ART」 (2018年度実績：来場者数4,000人)
中心市街地における花のまちづくりの推進	○はなふる応援隊の活動を実施した。 (2017年度実績：はなふる講座の開催7回, 市内ボランティアの実施6回, はなふるたうん事業補助金交付7団体) (2018年度実績：はなふる講座の開催5回, 市内ボランティアの実施6回, はなふるたうん事業補助金交付7団体)
偕楽園公園, 植物公園, 七ツ洞公園, 保和苑など, 市内公園相互の連携による花のガーデンづくりの実施, 回遊ルートの設定	○市内公園を積極的に運行ルートに組み込み、観光漫遊バス運行の充実を図った。 ・2017年4月1日に運行した「桜の名所編」において、偕楽園公園を運行した。 ・2017年5月7日に運行した「つつじの名所・みとちゃん一日ハーブ園長編」において、植物公園・森林公園を運行した。 ・2017年6月17日・18日に運行した「あじさいの名所編」において、保和苑・植物公園を運行した。 ・2017年11月12日・25日・26日に運行した「秋の水戸満喫編」において、偕楽園公園・保和苑を運行した。 ・2018年2月24日・25日・3月3日・4日に運行した「第122回水戸の梅まつり観光漫遊バス」において、偕楽園公園・植物公園を運行した。
周遊バスの運行	○市内のイベント等に合わせて花の名所を巡る観光漫遊バスを運行した。2017年度の乗車人数は以下の通り。 ・水戸の桜まつり 1日間 42名 ・スプリングフェスティバルin水戸 1日間 24名 ・水戸のあじさいまつり 2日間 1,090名 ・水戸のラーメンまつり等 3日間 778名 ・水戸の梅まつり 4日間 1,495名

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
広域的な花巡りルートの設定 (茨城県フラワーパーク, 常陸風土記の丘, 笠間つつじ公園, 笠間稲荷の菊まつり, ひたち海浜公園, 県立植物園などからの相互の誘客)	○茨城県フラワーパーク, ひたち海浜公園, 県立植物園などと連携して, それぞれの施設やイベントを紹介するチラシを設置し, 相互の誘客促進に取り組んだ。

②観光果樹園や水辺空間を活用した魅力づくりの推進

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
観光果樹園等の地域資源を生かした農業体験イベントの実施	○農産物の収穫等の農業体験を実施した。 場 所：観光果樹園, ふるさと農場等 期 間：2017年5月～2018年3月 参加者：1,384人 ○田んぼアートの取組の中で, 見頃の時期における田んぼアートまつりの開催に加えて, 田植え体験(2017年6月3日), 稲刈り体験(2017年9月29日)を実施した。
森林公園の自然環境を生かしたイベント, 自然学習の実施	○市内の小学4～6年生とその家族を対象に, 四季の体験学習を実施した。 ①田植え 2017年5月13日～14日(参加者48名) ②田の草取り 2017年6月24日～25日(参加者39名) ③稲刈り 2017年9月24日(参加者36名) ④収穫祭 2017年11月4日～5日(参加者79名) そのほか, サマーキャンプなど5つのイベント(参加者計157名)を実施した。 ○学校, 地域団体の要請や少年自然の家利用団体の希望に応じて移動天文車を運行し, 天体観望会や天文教室を実施した。また, 少年自然の家主催の天体観望会を月2回定期的に開催した。
大規模公園を生かしたウォーキングイベントの実施	○水戸市・那珂市・常陸太田市の3市合同で, 黄門さまが歩いた道やゆかりの地を歩いて巡る水戸黄門さま漫遊ウォークを開催した。 開催日：2018年10月6日 参加者：301名
那珂川を生かした広域型サイクリングイベントの実施	○水戸八景の各スポット, グルメポイントを自転車で巡る水戸八景グルメライドを実施した。 開催日：2018年3月24日 参加者：84名

(3) 市民おもてなし運動の推進について(基本計画P83～P85)

①おもてなし力の向上

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
水戸市観光のサポーター組織(仮称)MITOファン倶楽部の設立検討	○「笠間ファン倶楽部」(笠間市の住民と笠間市以外の方との交流の場としてつくられた団体)など他市事例の調査を実施した。
優良タクシー乗務員認定事業の拡充	○新規優良タクシー乗務員について、2017年度末までに42名を認定した。 ○認定を受けた乗務員について、おもてなし力の更なる向上を図るため、認定から5年を経過した乗務員を対象としたフォローアップ研修を実施し、6名が研修を再受講した。
おもてなしマイスター制度の創設	○おもてなしマイスターについて、2017年度末までに72名(マイスター54名、シルバー13名、ゴールド5名)を認定した。 ○第122回水戸の梅まつりにおいて、おもてなしマイスターが梅の駅手荷物預かり所においておもてなし活動を実施した。(14人、延べ18回)
観光ボランティアの育成	○市民観光ボランティア団体である水戸黄門倶楽部には、2017年度末までに98名(イベント部門84名、外国語観光案内部門14名)が登録しており、梅まつりや黄門まつりなど各種イベントの運営補助や外国語による観光案内など、ボランティア活動の場を提供し、ボランティアの育成を図った。
おもてなしガイドブック作成	○茨城国体におけるおもてなしに役立つガイドブックとして、市内の事業者が取り組むおもてなし活動を紹介した大人なおもてなしブックを作成した。 部数：8,000部
市民向けおもてなし講座の開催	○市民向けのおもてなしセミナーを開催した。 ・「おもてなし規格認証をご存知ですか? “これからの”おもてなし接客セミナー」 開催日：2017年10月17日 開催場所：茨城県三の丸庁舎大講座室 受講者数：105人 ・「大和撫子和乃会 安達和子様によるおもてなし講座」 開催日：2018年2月10日 開催場所：茨城県三の丸庁舎大講座室 受講者数：80人

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
観光ボランティアの水戸駅観光案内所への配置検討	○おもてなしマイスターの活用策について、水戸商工会議所等関係団体と検討を行った。
市民協働によるおもてなし体制の充実	○各自がおもてなし活動として取り組みたいことをホームページ等で宣言し、実践することで、おもてなしの輪を水戸のまちに広げることを目的とし、おもてなし水戸っぽ隊が活動を行った。(2017年度：70団体・1,654人が登録) ○おもてなしの取組を身近に感じ、認知していただくため、水戸市マスコットキャラクターみとちゃんを活用し、水戸観光案内所におけるおもてなしの取組を水戸市ホームページで紹介した。

②戦略的観光PR活動の推進

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
マスコットキャラクター「みとちゃん」を活用したシティセールスの推進	○「みとちゃん」を活用した観光PRの取組として、県内外のイベントへの出演やSNSの活用に加え、外国人向けのPR動画を制作した。
ホームページ等電子媒体を活用した効果的な情報発信	○水戸市ホームページに加え、FacebookやTwitterによる観光情報の発信を行った。 ○梅まつりの周知に係る新たな取組として、常磐道や圏央道沿線の住民に対して、Youtube動画広告を配信した。
アンテナショップ等を活用したブランドイメージの向上	○水戸黄門まつり、水戸の梅まつりの開催時期において、県のアンテナショップ等を活用し、まつりのパンフレットやウチワの設置・配布を行い、ブランドイメージの向上を図った。 ○水戸の梅まつりの開催とあわせ、デジタルサイネージを活用したPRを実施した。
水戸の梅大使、水戸大使によるプロモーション活動の充実	○水戸黄門まつりや水戸の梅まつりのPRキャラバン等において、水戸の梅大使によるプロモーションを実施した。 ○水戸大使の会を開催し、大使間の意見交換とあわせ、市の取組を紹介するとともに、広報みとを個別に配布し、水戸の観光情報等を定期的に提供した。
市内の大学やその卒業生を活用した効果的な情報発信	○梅酒まつりへのボランティアや各種イベントへの参加を通じた情報発信を実施した。

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
茨城国体を見据えた観光PR活動	<p>○いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会水戸市実行委員会ホームページにおいて、市内の観光施設やイベント情報、人気観光スポットを紹介した。</p> <p>○市内各種イベントにおいて、水戸市マスコットキャラクターのみとちゃんと茨城国体マスコットキャラクターのいばラッキーが同時出演し、市内観光及び国体のPRを実施した。</p>
常磐線東京駅乗り入れに合わせた首都圏からの誘客活動	<p>○東京駅や品川駅において、水戸黄門まつり及び水戸の梅まつり開催前の首都圏PRキャラバンを実施した。</p>

③観光産業の育成・強化

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
黄門料理、水戸藩らーめん、納豆料理、スイーツ、うなぎの蒲焼、MITOワイン等の特色ある食資源の活用	<p>○観光情報誌のるるぶ水戸において、黄門料理や水戸藩らーめん等水戸ならではの食資源を扱う店舗やメニューを掲載し、PRを図った。</p> <p>○納豆料理の提供店舗を紹介するマップの作成・配布を実施した。</p> <p>○水戸を含む北関東4市で開催するきたかんマルシェにDomaine MITOを出展させ、新たな水戸の食資源をPRした。</p> <p>○水戸黄門料理まつりを実施し、茨城にゆかりのあるゲストの講演と料理を味わう食談を行った。</p>
乾杯条例と地酒・梅酒等の普及・PR	<p>○チラシ・ポスター、テーブルテントを作成して、市内店舗への掲示を依頼し、普及・PRを行った。</p> <p>○地酒で乾杯推進協議会の取組を通じて、地酒のイベント等における活動を実施した。</p>
新たなご当地グルメや土産品の開発促進	<p>○茨城県央地域の魅力的でおいしい土産品を集めた品評会を開催し、新たな土産品の開発を促進した。</p> <p>○優良観光土産品登録制度を活用し、新たな土産品の開発促進とあわせ、PRを図った。</p>
優良観光土産品登録制度の活用	<p>○るるぶ水戸への掲載をはじめ、県外の物産イベントで出品するなど、優良観光土産品のPRとあわせ、販売の促進を行った。</p> <p>○各種イベント等での試食提供を実施した。</p>

具体的な取組	これまでの主な取組(2015年度～2018年度)
水戸の梅産地づくり事業	<p>○水戸の梅の生産向上のため、梅のジョイント栽培指導、ジョイント用苗木の配布、ジョイント用果樹棚・防風ネットの設置に対する支援を実施した。</p> <p>○水戸の梅のブランド化のため、のぼりや法被を作成し、イベントにおいて、水戸産梅「ふくゆい」をPRするとともに、「ふくゆい」の高級青梅の予約販売をはじめ、「ふくゆい」を用いた梅菓子のPR、高級梅干しの商品開発の支援を実施した。</p>
PR強化による販路拡大、マッチングの推進	<p>○米粉麺「穂々の空」の販路拡大のため、水戸市ふるさと納税の寄付金謝礼特産品カタログへの掲載、生産者であるJA水戸青年部の取組のPR・支援に加え、市優良観光土産品としての登録をあっせんした。</p> <p>○ゴマの販路拡大のため、パンフレットをリニューアルしたほか、産業祭・内原ふれあいまつりなどのイベントに参加し、PRを実施した。</p> <p>○青パイアの販路拡大のため、紹介するパンフレットを作成したほか、新商品であるあまなっとうを開発し、産業祭・内原ふれあいまつりなどのイベントに参加し、PRを実施した。</p>
納豆や酒蔵、お菓子など、水戸独自の産業観光メニューの充実	<p>○提灯や焼物等水戸ならではの体験型プログラムの実現に向け、市ホームページでの情報発信を実施した。</p>

○水戸市観光審議会条例

(設置)

第1条 観光開発の推進を図るため、水戸市観光審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 観光資源開発に関すること。
- (2) 広域観光に関すること。
- (3) 観光行事に関すること。
- (4) その他必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、関係機関、団体の役職員及び学識経験者のうちから、市長が委嘱する20人以内の委員をもって組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、委員の互選により会長及び副会長を置く。

2 会長は、審議会の会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

2 審議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会)

第7条 審議会に、特別の事項を調査するため小委員会を置くことができる。

2 小委員会の委員は、第3条に規定する委員のうちから、会長が指名する。

3 小委員会に、委員長及び副委員長を置く。

4 委員長及び副委員長は、小委員会の委員の互選により選出し、小委員会の運営については、前条の規定を準用する。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、産業経済部において行う。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

水戸市観光審議会委員名簿

平成31年2月 現在
(順不同, 敬称略)

氏名	役職
会長	加藤 高藏 一般社団法人水戸観光コンベンション協会会長
副会長	内田 泰男 水戸の食と観光開発委員会委員長
委員	田口 米蔵 水戸市議会議長
委員	小川 勝夫 水戸市議会産業水道委員会委員長
委員	大橋 章 一般社団法人水戸市商店会連合会会長
委員	林 太一 水戸観光土産品協会会長
委員	石川 よう子 茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合水戸支部副支部長
委員	柳沢 一道 日本旅行業協会関東支部茨城地区委員会委員長
委員	石井 修 東日本旅客鉄道株式会社水戸支社 営業部販売課担当課長 (旅行業・観光開発)
委員	楢崎 ひろ子 水戸女性会議会長
委員	久信田 もと子 水戸市地域女性団体連絡会会長
委員	鹿倉 よし江 水戸女性フォーラム会長
委員	伊藤 明美 水戸商工会議所女性会会長
委員	大関 茂 水戸市住みよいまちづくり推進協議会会長
委員	前田 拓哉 公益社団法人水戸青年会議所理事長
委員	藤田 一宏 日本放送協会水戸放送局放送部長
委員	澤 利彦 株式会社茨城新聞社営業局営業統括部長
委員	小川 啓子 水戸コミュニティ放送株式会社代表取締役
委員	伊王野 求美 公募委員
委員	矢島 敬子 公募委員

(任期) 平成29年2月28日～平成31年2月27日

